



白糸ノ滝

国名勝及び天然記念物

白糸ノ滝 世界遺産構成資産

白糸の滝・音止の滝

絶壁から絹糸を垂らしたように流れ落ちる優雅な様からその名がついた「白糸の滝」。富士山の雪解け水が地層の境から流れ落ちたもので、高さ20m、幅150mにおよぶ日本屈指の名瀑です。周囲にキラリと冷えた風を運んでくれています。「音止の滝」は、白糸の滝と隣接した清流芝川の本流にかかっています。高さ25mの絶壁から轟音をとどろかせて落下する様は、白糸の滝とは対照的に実に勇壮です。その昔、曾我兄弟が父の仇、工藤祐経を討つ相談をした際、

滝の音で声がさえぎられたため、しばし神に念じたところ、一瞬間滝の音が止んだという伝説からこの名が残されています。昭和25年10月に「観光百選滝の部」で白糸の滝が1位に、また平成2年4月には「日本の滝百選」に白糸の滝・音止の滝が選ばれています。

●白糸の滝駐車場
富士宮市上井出273-1
TEL(0544)54-2880
普通車500円、バス1,000円
バイク200円(1日)

この上に
いかなる姫やおわすらん
おだまき流す
白糸の滝

源頼朝



音止の滝



朝日滝

朝日滝

朝日に輝き、飛沫を上げている滝の姿からその名が付いたと言われ、夏の涼を求めるには絶好の場所です。落差20m。白糸の滝から車で5分

富士宮市半野



曾我八幡宮



工藤祐経の墓

兄の曾我十郎祐成は斬殺され、弟の曾我五郎時致は捕らえられて処刑されました。現在、音止の滝の東方には、兄弟が密談をしたといわれる「曾我の隠れ岩」や工藤祐経を供養する「工藤祐経の墓」、さらに、源頼朝の命によって兄弟の霊を慰めるためにつくられたという「曾我八幡宮」があります。曾我八幡宮東の小高い丘の上には「曾我兄弟の墓」がまつられています。

源頼朝

曾我兄弟の仇討ち

～日本三大仇討ちの一つを知る～

曾我兄弟の父は工藤祐経に暗殺されました。仇討ちの機会を待った兄弟は、源頼朝が富士山麓を舞台に巻狩りを催した際に、ついに仇討ちを成し遂げますが、



田貫湖

富士宮市は、富士山のビューポイントであふれていますが、お勤めは日の出です。日の出のダイヤモンド富士を楽しむことができます。その中でも田貫湖のダイヤモンド富士は、その様子が湖面に映し出されることからダブルダイヤモンド富士といわれ、多くの見物客とカメラマンが集まります。また、夕陽を浴びて富士山が赤くそまる赤富士も魅力的です。

見頃:4月20日・8月20日の前後1週間
時間:午前6時前後

田貫湖キャンプ場



湖畔には、緑あふれるキャンプ場や1周3.3kmのサイクリングロードが広がり、春は桜、秋は紅葉と多くのキャンパーやハイカーで賑わっています。

ホームページ <http://tanukiko.com>
・テントサイト TEL(0544)52-0155
・デイキャンプサイト TEL(0544)52-0015
お問合せ
富士宮市観光協会 TEL(0544)27-5240

小田貫湿原

富士山麓唯一の湿原で63種の植物、29種のトンボ、72種の蝶が確認される希少な生物の宝庫です。(田貫湖北へ約1km)



田貫湖ふれあい自然塾
わくわくドキドキ!
自然体験プログラムがいっぱい。
TEL(0544)54-5410



Fujinomiya



Fujinomiya